



The Tokyo Branch Letter No.62 RSCDS東京ブランチ  
東京ブランチレター February 2004

A Newsletter of the Tokyo Branch of the Royal Scottish Country Dance Society

Editor: Tom Toriyama, 6-9-21, Ohzenji-nishi, Asao-ku, Kawasaki 215-0017 Tel/Fax 044-988-7773

## 2004年東京支部合宿

2004年2月14日(土)1.00-15日(日)3.00  
石川島研修センター  
(神奈川県綾瀬市・小田急海老名駅下車)  
¥15,000 (RSCDS 非会員¥17,000)  
講師 マルカム・ブラウン  
ピーター・クラーク  
ミュージシャン パット・クラーク  
および東京支部ミュージシャン

今回は基礎的なテクニックを向上するよりも、ダンシングをソーシャルに楽しむことを趣旨にしています。ダンス経験の有無によるクラス分けはありません。

### ソーシャル・ダンシング・プログラム(リカップのみ)

The Wild Geese	24-3
Maxwell's Rant	18-10
Balmoral Strathspey	22-3
Joie de Vivre	39-2
The Sailor	24-4
The Lea Rig	21-5
St Andrew's Fair	1982
Nice to See You	40-3
Mrs Milne of Kinneff	Lft-20
The White Cockade	5-11
The Glasgow Highlanders	2-3
Quarries' Jig	36-3
Adieu Mon Ami	24-11
The Montgomeries' Rant	10-1
Ex. Mrs Stewart's Jig	35-1

参加者にはあらためて案内紙をお送りします。  
受付け、段取りなどでみなさんのご協力をの  
っています。お問合せは担当 佐藤裕治まで■

## ご不要の年賀はがきを支部に

お宅にご不要となった年賀はがきがあれば、ど  
うぞセクレタリ若松陽子にお送りください。

昨年は270枚をこえる年賀はがきをいただき、  
支部のお知らせ用に活用することができてたい  
へんありがたく重宝いたしました。

1枚、2枚でも結構ですので、ご協力をお願い  
いたします■

## 東京支部20周年行事

### <パリ・ブランチ・ウィークエンド・ツアー>

2004年4月7日(水)-15日(木)9日間  
東京支部主催のウィークエンド・ツアーは、11  
月末の募集締切りまでに現地合流者2名を含め定  
員20人の申込があり、実施がきました。楽  
しい旅行となるでしょう。リヨンとポーで新しい  
友達をたくさん作っていただきたいと願ってい  
ます。

### <東京ブランチ・ウィークエンド>

2004年10月30日(土)-31日(日)  
石川島研修センター  
講師 アン・ディックス  
&レイチェル・ウィルトン  
ミュージシャン デビッド・ホール  
&ジュディス・スミス

### <20th Anniversary Ball>

2004年11月3日(水・祝)午後  
場所確保中  
ミュージシャン デビッド・ホール  
&ジュディス・スミス■

## 東京支部役員改選

支部運営委員の任期は1年間のため、晩春また  
は初夏に予定されている次期年次総会において  
2004年度運営委員を選挙します。とくにチェア  
マン、トレジャラは新しい人を選挙しなければなり  
ません。

立候補(推薦を含む。以下同じ)されるかたは  
選挙管理委員までお申し越してください。東京支部  
を通じて本部会員登録したかたが立候補できま  
す。

### 選挙管理委員

池間悦子 T/F 045-982-8528

鈴木百代 T/F 049-296-1766

立候補締切り 5月10日

推薦の場合は必ず被推薦者の同意を得てくださ  
い■

## 東京ブランチ・クラス

### ビギナーズ・クラス

2月9日(月)・23日(月) 1.30-4.30  
3月8日(月)・22日(月) 1.30-4.30  
千代田区総合体育館 5F・多目的室 ¥800  
講師 小山かおる・境雅子  
担当 松田正子 0438-23-0475

### ステップ・ダンス・クラス

2月は合宿のため休み  
3月13日(土) 1.15-2.05  
講師 櫻井香枝  
幡ヶ谷社会教育館(予定) ¥800  
担当 池間悦子 045-982-8528

### インターメディエイト・クラス

2月は合宿のため休み  
3月13日(土) 2.15-4.30  
講師 白浜雅子・山田治子  
幡ヶ谷社会教育館(予定) ¥800  
担当 池間悦子 045-982-8528

### アドバンスド・クラス

2月7日(土) 6.20-8.45  
講師 小幡正明  
3月6日(土) 6.20-8.45  
講師 近藤幸子  
いずれも会場は別途お知らせします  
担当 鈴木百代 049-296-1766■

## RSCDS 東京支部

チェアマン 鳥山豊喜(トム鳥山)  
T/F 044-988-7773  
Email: Tomtori@aol.com  
セクレタリ 若松陽子 T/F 042-593-2446  
〒191-0022 日野市新井 405-3  
Email: ywakamat@mail.hinocattv.ne.jp  
トレジャラ 境 雅子 T/F 047-368-3873  
委員会メンバー 池間悦子 045-982-8528  
佐藤裕治 0424-86-3929  
鈴木百代 049-296-1766  
松田正子 0438-23-0475  
藤田淑子 044-954-7235  
ホームページ www.ne.jp/asahi/tokyo/branch/  
同担当 吉澤敦子 T/F 0298-41-0767

## マルカム、ピーター&パットの日程

2月に来日する3人の概略日程です。  
12日 木 英国発。フランクフルト経由日本へ。  
13日 金 朝 成田着。海老名市泊。  
14日 土 東京支部合宿。  
15日 日 東京支部合宿。都内泊。  
16日 月 東京観光。都内泊。  
17日 火 マルカム-茨城でクラス指導。  
ピーター&パット-都下でクラス指導。  
18日 水 ピーター&パット-赤羽 Gr でクラス。  
以降23日まで埼玉支部で指導。  
22日 日 埼玉支部合宿終了。大宮泊。  
23日 月 午後 さよならパーティ。成田泊。  
24日 火 10:40 LH711 で成田発■

## 各地サマー/ウィンタースクール 2004

### <RSCDS サマースクール>

第1週 7月18日(日) - 25日(日)  
第2週 7月25日(日) - 8月1日(日)  
第3週 8月1日(日) - 8日(日)  
第4週 8月8日(日) - 15日(日)  
申込用紙が必要な場合は、セクレタリ若松陽子  
までお問い合わせください。

### <オーストラリア・ウィンタースクール>

7月4日(日) - 11日(日)  
ニューサウスウェールズ州ネルソン・ベイ  
主管 ハンター・バリー・ブランチ  
個室 A\$835 (2人部屋 A\$665)  
講師 Avis Harrison, Alan Macpherson,  
Katharine Hoskyn ほか  
音楽 Jennifer Wilson, Jennifer Foong,  
Peter Elmes & his Band  
締切り 4月1日  
お問合せはチェアマン・トム鳥山まで。

### <TAC サマースクール>

8月8日(日) - 15日(日)  
セント・ジェロームズ大学(オンタリオ州ウォー  
タールー)  
個室 US\$580 (2人部屋 US\$530)  
講師 Marjorie McLaughlin, Fiona Miller  
音楽 Bobby Brown, Elka Baker ほか  
締切り 7月15日  
お問合せはチェアマン・トム鳥山まで■

## どうなる、クラス案内のはがき？ のその後

(Tom Toriyama)

ブランチレター前号で、関東圏在住という理由で案内のはがきを一律に送っている状況をお知らせし、改善を図るべきではないかをご提案しました。寄せられた意見はすべて「送付を希望する会員は、年会費に加えてはがき代を負担する」というものでした。

2004年度は上記のご意見にもとづき、クラス案内送付を希望される場合、年500円のはがき代を年会費に加えお支払いいただくことにしたいと考えます。電子メールによる案内送付はごく少ない費用で済むため、現状どおり無料です■

## 4月に会員登録を

合宿が終わると会員登録の時期となります。新規ならびに更新の会員登録のお願いを次号ブランチレターでご案内いたします。

「まだ時間があると思わずに、即刻お申し込みされることをおすすめします」とは昨年の登録時に述べたことばですが、毎年10人弱の締切りを過ぎてのお申し込みがあり、心苦しくも次年度までお待ちいただいています。

これは国際送金というやっかいな手続きがあること、無料配布品の種類や部数における誤り発生を避けるため、本部への会員登録は1回で完了させたいためです。4月、会員登録案内がお手元にとどきましたなら、すばやくご処理されますよう、お願い申し上げます。

時期になりましたら、お知り合い同士で「会員登録、済んだ？」と確認されてはいかがでしょう■

## RSCDS 80周年ダンス会

11月3日(月)東京・赤羽会館にほぼ100名が参加してRSCDS創立80周年を祝いました。新人、ベテランのMCによるスムーズな進行と本守明美さん・村上美枝子さんのピアノ演奏で16ダンスのなごやかな午後も過ごしました。ソサエティ・チェアマンからのつぎのメッセージも寄せられ、イベントにいつそうの激励となりました。

「東京ブランチによるRSCDS 80周年記念ボールの開催をたいへんうれしく思います。このすばらしいイベントを、みなさんが大いに楽しめることを願っています。スコットランドと日本がもっと近かったら、そしてこの日がソサエティの



AGM(年次総会)と重なっていなかったら、わたしもみなさんと一緒にダンシングを楽しんだことでしょう。ハッピー・ダンシング! ジーン・マーティン、ソサエティ・チェアマン」

場所の確保、会場の華やかなデコレーション、受付けや軽飲食の準備を担当していただいたみなさんにお礼申し上げます。■

## ソサエティ第74回年次総会報告

(本部議事録 2003.11.12 から概略)

- \*11月1日(土)、パースのスポーツ館に257人の代議員と244人の傍聴者が出席し、パース副行政区長の祝辞のあと、ソサエティ総裁のエリザベス女王からのメッセージが述べられた。
- \*功労者表彰受賞者は  
ガリー・モリス(ニュージーランド支部)  
キース&モーラグ・ネピア(シドニー支部)  
ディレク・ヘインズ(リバプール支部)  
ロバート・マッカイ(サンフランシスコ支部)  
など7名。
- \*マンスフィールド卿を会長に選出した。26年目になる。
- \*会員数19,808名(378名減)、166支部、448のアフィリエート・グループ。ティーサイド支部解散となったが、ジョン・ミューア支部(米ウイソコンシン州)が誕生した。

### 教育・訓練委員会報告

- \*エグザミナー任命手続きを明文化。(日本人もエグザミナーになれる)。試験の仕組み変更の検討が続いており、2004年初めには具体案。
- \*ジョハン・マククリーンに代わって2004年からリンダ・ゴールがサマースクール校長になる。
- \*ユース委員会代表はフィオナ・タンブルからスー・ポーターへ。
- \*こどもダンサー用のメダル・テスト要領と安全保護の手引きが完成した。(支部受領済み)。

### 会員サービス委員会報告

- \*カセットからCDへの移行はほぼ完了。

- \* ソサエティ最初の“海外バンド”による CD ができあがった。Book 12 CD がそれで、カナダのボビー・ブラウン楽団によるもの。
- \* マニュアルに大幅な変更が行われた。(表現は現在完了形)。
- \* 2004 年発行の Book 44 ダンス選考に世界中の会員がかかわった。

#### 総務・財務委員会報告

- \* ソサエティ会計年度は 7 月 1 日から 6 月 30 日までであったが、2004 年から 4 月 1 日から 3 月 31 日まで、に変更する。

#### 理事会報告

- \* 2003-04 のソサエティ基本計画をまとめ、各支部に送付した。
- \* 本部地下室の改修が開始された。(監督は建築士が本業の次期チェアマン、スチュワート・アダム)。
- \* ウェブ・サイト(インターネット)の急速な拡張を展開中である。すでに 124 の支部に電子メールを送っている。
- \* MacNab ダンスのビデオ化を進める。

#### セクレタリ方針- (上記報告に入っていないもので主要なもの)

- \* 本部スタッフの勤務評定を行なう。
- \* レコーディングの日程を守る。
- \* 出版物の在庫を適正に保つ。
- \* Book 29 までのポケット版を CD-ROM でも発売する。
- \* Bulletin など各種出版物を効率的に配布する。
- \* ウォームアップ・テキストを出版する。
- \* DanceDetails のインターネット化を推進する。(ダンス説明書がインターネットで見られる)。

#### 財政報告

- \* 2002-03 年度は会費値上げ反映の初年度であった。25%の会費値上げだったが、本部の実入りは 20%にとどまった。ミリガン奨学基金の寄付額は前年よりも増えたが、一般基金寄付は減少。CD 化基金は順調。
- \* サマースクール総収入は 5,400 万円、CD 化基金残高は売上げ増大により 1,400 万円。
- \* 投資収益は急激に減少し、58 万円にとどまった。
- \* ソサエティ総収入は 1 億 1,900 万円、支出を差し引いた剰余金は 910 万円であった。

#### 理事・各委員の改選

- \* 今回で任期切れとなる理事・各委員の改選が行われた。(2 月に来日するピーター・クラークは任期 3 年の理事に選任された)。
- チェアマンから謝辞があり、AGM を終えた。
- 次回年次総会は 2004 年 11 月 6 日(土) エジンバラで開催される ■

## ブランチはちゃんとやっているか

(本部理事会 2003.9)

(トム鳥山注。ソサエティは 1998 年以来、スコティッシュ・カントリー・ダンスが一部の人のものではなく、すべての人にこの踊りを楽しんでもらいたいと、5 年計画策定や機構改革を行っている。その目的を成すにはブランチの健全な発展が不可欠である。以下は本部理事会が示した一つの評価基準で、各ブランチはこの尺度を用いて自己評価してほしいと述べている。国、地域で事情が異なり、当てはまらない項目もあるが、わがブランチの現状を会員のみなさんも評価していただきたい)。

### 1. ダンシング

- ブランチ(以下「支部」という)はみなさんのエリアで、その必要度と規模に応じた十分なクラスをやっているか。
- ビギナーズだけのクラスをやっているか? ある支部はビギナーズ・コースを開催し、コースを終了したらより進んだクラスに取り込むようにしている。このことをやっているか。
- ソーシャル・ダンシングを適時開催しているか。支部はこの分野で責任ある役割を演じているか。
- デイ・スクールをやっていないなら、やろうと考えているか。

### 2. 会員

- 新会員を積極的に獲得しようとしているか。
- ニューズレター未発行の支部は、これについてどう考えているか。
- 本部発行のニューズブリーフを会員に配布するとき、どんな問題点があるか。
- 支部のウィークリー・クラスに参加する会員の数は? これを増やそうとしているか。

### 3. パブリシティ(宣伝活動)

- 地域で宣伝活動を行なっているか。行なっているとすれば宣伝費予算をきめているか。
- 支部にデモンストレーション・チームがあるか。
- 支部はインターネット・サイトを持っているか。それは本部のサイトとリンクしているか。
- ことしの新会員は支部をどのようにして知ったのか。
- その町/市で支部の存在は知られているか。
  - よく知られている
  - まあ知られている
  - あまり知られていない
- 地域のラジオ/テレビ局に面接を申し入れたことがあるか。
- 地方紙に定期的に宣伝原稿を送っているか。
- 支部にパブリシティ責任者がいるか。■

#### 4. ユース

- a. ソサエティは年少者指導のために各種のツールを持っているが、これを知っているか。ティーチング・キットを使おうと考えたことがあるか。
- b. こどもクラスをもっているか。本部発行のこども安全対策書を知っているか。
- c. こども、年少者を積極的に SCD に取り込もうとしているか。
- d. 支部運営においてティーンエイジャーの参画を歓迎しているか。

#### 5. ティーチャーとミュージシャン

- a. ダンサーを RSCDS ティーチャーにしようと努めているか。
- b. 新ティーチャーに指導の機会を与えているか。
- c. クラスやダンス会でミュージシャンを使うよう、心がけているか。SCD 演奏のために勉強したいと思っているミュージシャンがいるか。

#### 6. ローカル・グループ

- a. 支部会員はローカル・グループにも出席しているか。
- b. 支部のティーチャーはローカル・グループで指導しているか。
- c. ローカル・グループの会員に、ソサエティ会員になるよう勧めているか。
- d. その地域でソサエティにつながっていないローカル・グループがあるか。

#### 7. 財政と運営

- a. 支部の財政状態は健全か。
- b. 準備金に対する方針があるか。準備金の額は、十分、不十分、過剰のうちどれか。
- c. サマースクール参加者に奨学金支給を呼びかけているか。
- d. 委員会は役員の新陳代謝を間断なく行っているか。
- e. 三役の任期を制限するしくみがあるか。
- f. 会員は委員会開催の日取りを知っているか。
- g. 会員と委員会とのコミュニケーションはどのようにしてとっているか。
- h. 会員の意見を本部に伝えているか。
- i. 会員へのサマー/ウィンター/ユース・スクール参加をどのようにして促進しているか。

#### 8. 全般状況

- a. 支部に満足しているか。
- b. 来年、やりたい、やってほしいと思っていることは何か。

#### 9. 支部と本部

- a. 支部の懸案事項のなかで、本部の援助や助言が得られるだろうと思われる案件があるか。
- b. ソサエティの行き方、やり方に満足しているか■

## Book 44 プロジェクト

(ジム・ヒーリー)

「つぎの議題は Book 44、60 のダンスが提出されている」。

毎週末がダンス選考の場と化するのがわかった出版・録音小委員会の面々はみな「うー！」。

「ランチの協力をえたらどうだろうか？」わたしはこう切り出した。「60 のダンスを 10 群にわけ、たとえば 30 のランチにやってもらうことで、われわれの負担を軽くすることができると思う」。

議論ののち、問題は時間的な制約にあることがわかった。ジーン・マーティンにはこやかに、しかもきっぱりと「準備を進めてくれる？」。

「ひえー！」という声は、自ら墓穴を掘った、わたしが発したものであった。

ローズマリ・ハーヴィーゴードンがダンスを統一様式化してくれることになった。ダンス名を削除したり、作者やどのランチかがわかってしまうようなものを消去する仕事である。時間の制限があったため、電子メールでやりとりできるランチに依頼することになった。本部セクレタリのエルスペースがランチあて先のリストを作り、最終的に 113 のランチ・リストとなった。

まとめられたダンスの内訳は Jig 11, Reel 20、Medley 3、Strathspey 25、Waltz 1 で、これをバランスよく組み合わせた。たとえば、あるランチにはすべて 4 couple Strathspey を送る、という具合である。6 月 12 日までの回答を求めて 113 のランチに意向を打診した。80 のあて先から回答があり、うち 18 のランチは、おもにスコットランドとカナダであるが、すでにダンス・シーズン終了のため辞退、の回答があった。すべて、今回は辞退するがこのつぎはぜひ参画させてほしい、という申し入れつきであった。ニュージーランドは 3 地域に送り、あわせて 64 箇所での評価が行なわれることになった。

アフリカ 2 箇所、オーストラリア 5、カナダ 5、イングランド&ウェールズ 18、欧州 2、日本 2、NZ 3、スコットランド 12、米国 15 箇所、約 1,500 人のダンサーが参画した。

ダンスの評価尺度は簡単な 4 段階評価 (A から D) とした。その結果は見事だった。それぞれのダンスの評価はほとんど一致していたのである。ランチ間で極端な差は見られなかった。評価 B、C のいずれともいえる数ダンスはたしかに境界線上にあった。

3 つのダンスは A と D がまじった評価となった。A とした評価に付随されたコメントは、説明が明瞭でないため、べつの解釈でやったが、それがすばらしいダンスとなる可能性を秘めているというものであった。これら 3 ダンスは別途考慮される。単純に A あるいは D とみなされるダンスは皆

無であった。

ほとんどのランチにはミュージシャンがおらず、公平を期すため、どの音楽を使うかはランチの好みにまかせられた。あるランチから問い合わせがあり、「選んだ音楽がいいかどうか、投票で決められないか」。評価付けが均等だったことは、どの音楽を用いるかが大きな影響を持たないことを意味している。

これにかかわった人たちにとっておどろきであったのは、全般的に説明文がお粗末だったことである。あるダンスなどは主要フォーメーションを述べただけ、そのほかにも「ダンス A の x から y 小節に同じ」という書き方が散見された。ダンス A が必ずしも一般的でないにもかかわらず、である。

候補ダンスは 20 に絞り込まれ、Book 44 の 10 ダンスを選ぶ過程にある。ソサエティにはいろいろな会員がおり、まんべんなく受け入れられるよう、複雑なダンスとシンプルなダンスを組み合わせる作業が進められている。

このプロジェクトにおいて二、三の問題が浮かび上がった。電子メールのないランチには何もしないのか？ 率直に言ってこのプロジェクトは電子メールなしには実行不可能であり、すでにインターネット社会が形作られていることを示している。例として、最初のダンス選考回答はメールで依頼後、1 週間に満たずして寄せられた。フロリダ北ランチの会員、起立！。

## コードは一つ？二つ？

(アレスター・マクファジェン)

最近、2コード・ダンスのとき、ダンスに入る前の準備動作を RSCDS 出版物に記載し続けるべきかどうかで議論がなされている。この文でその論争の両面を要約したい。

現在 RSCDS ダンス中、11 の 2コード・ダンスがある。最初のコードでパートナーに敬意を表し、2 番目のコードでダンサーが適切なスターティング・ポジションにつく、というものである。11 ダンス中 4 ダンスは、second chord で 3 組と 4 組が crossing して opposite につくというモダンな構成である。このほかの 7 ダンスは 18 世紀、19 世紀に生まれた踊りで、よく知られているダンスに “The Glasgow Highlanders” (Book 2) がある。

「2コードの説明記載を廃止せよ」という主張は、コードとは bow and curtsey をやるために用いられるべきという考え方であり、これを支持す

そのほかの案件としては、落とされたダンス、とくにトップ 20 に入りながら落ちたダンスに対する取り扱いである。これらはダメなダンスではない。将来において、小委員会は 20 ダンスの音楽を特定するため、レコーディングを提案するつもりである。これは 60 という多数ダンスのためでもあり、いつ出版されるか見当もつかないのにすでに Book 46 用として提出されている新しい 20 ものダンスにその存在を脅かされているためでもある。

Book 45 は各ランチで出版したダンスをもとに採用することになっているが、この選考も同じ方法でやるのか？ 評価のしくみの改善は？ 作者に明快な説明文を作らせるには？ その他もろもろのことがある。

すでにいくつかのランチに答えたように、選考においていちばん大切なことは、評価にかかわった会員の数であり、そしてそれを楽しんだかどうかである。

小委員会はプロジェクトに関係した人すべてにお礼を申しあげる。とくにランチで選考会をアレンジした人、説明文を解釈し踊り方を指導した人、ありがとう。Book 44 出版のあかつきに、感嘆されつつ、「きちんとした心構えでダンスを選んでいるけど、だれがやったの？」と質問されたら、みなさんはこう答えることができる。「わたしたちよ！」。ハッピー・ダンシング (“The Book 44 Project” by Jim Healy, from The RSCDS Bulletin No.81, Oct 2003)■

る人は、例として “Autumn in Appin” (Book 31) で 3 組と 4 組が位置交換するために second chord を使う RSCDS のやり方を遺憾であると思っている。カントリー・ダンサーは、標準のロングワイズ・セットを変化させてセットを作るのにも手慣れており、“Autumn in Appin” のようなダンスがシングル・コードでスタートしても、はじめから所定の位置につくことができる。このことは、ダンスがアンコールされる時、ダンサー、ミュージシャン (みんなというわけではない) の戸惑いをなくすることにつながる - このときダンサーは 1 回コードでよいと思っているからである。

録音音楽に頼っている少人数のグループには one chord で十分として、音楽の録音においても議論がある。ダンス用音楽の選定において、2 回のコードがあると選択肢が狭められるためである。

one chord を信奉する人たちは “The Glasgow Highlanders” の存在が例外であることを強調している。そういう人は 1st woman と 2nd couple

の位置交換をダンス内容の一部にとらえ、このダンスを one chord ルールに入らない例外ダンスとみなしている。しかしながら、その人たちは second chord を opposite にいるダンサーとの表敬に使い、と強く主張している。このやり方なら、位置交換であわただしさや不器用さを表わさずにする。

2 chords 防衛隊は、過去 70 年以上にわたり “The Glasgow Highlanders” のほかにも 2-chord でやってきたダンスがあるのではないかと指摘している。そういったダンスでは、1st couple は second chord で opposite に移り、ボトムまでそのサイドにいる。そういったダンスも “The Glasgow Highlanders” と同じ例外ダンスなのか、と反論する。あるダンスには one chord ルールを適用し、別のダンスにはそれを適用しないのは混乱をまねくだけ、というわけである。

セット・カウントが終わったのちに自分たちが位置交換が必要かどうか分かるわけであり、second chord はそのダンサーに位置交換を気付かせる妥当ではっきりした方法である、というのが 2 chords 保存会の主張である。でも、この移動にはちょっとした時間が必要であり、ミュージシャンやバンドにとっては気になる事柄だ、というのもわかっている。

伝統を引き継ぐという目から見ると 80 年、あるいはもっとむかしから、別の理由で 2 chords が維持されてきた。とくにスタート位置への移動なのだが、その証拠とはなんだろうか？

Book 2 (1924) の初版に “The Glasgow Highlanders” のコードに関する記述はない。second chord における移動は、その後の改訂版で追記されたものである。

## ユーロピアン・パッチワーク

(スージ・メイヤー)

RSCDS のブランチ&アフィリエイト・グループ名簿で欧州のページをご覧ください。みなさんはそこで約 20 カ国、50 を超える名前を見ることがになります。インターネットの Celtic Circle ではもっと多くて、イベリア半島から東欧まで、そしてスカンジナビアから地中海まで、欧州大陸をカバーするほぼ 150 のグループを記載しています。

RSCDS ブランチ (オーストリア、フランス、オランダ、スウェーデンにあり) の数は 1989 年から変わっていませんが、欧州における SCD は堅実に発展をつづけています。多くのグループが本部に

1926 年 10 月 22 日、エジンバラでソサエティの特別会議が行なわれ、テクニカルなポイントが討議された。“The Duke is Welcome to Inverness” (Book 3) に関する会議の結論は「1st couple の男女は (コードでもって) 位置を交換することにより、はじめること」となっている。

“The Glasgow Highlanders” の作者、グラスゴーのウォルター・ギリス (当時のダンス教師) はコードについてなにも記していないが、かれと同時代のダンス教師、ジェームズ・ロバートソン (Kerr’s Collection の Reel と Strathspey 音楽に 22 のダンスを振付けた人物) は “The Glasgow Highlanders” についてつぎのように述べている。

「コードのとき、または最初の 8 小節で 1st lady は 2nd man の位置、パートナーの右に cross over する」

Kerr’s Collection はよく知られており、ジェームズ・ロバートソンとその影響下にあったミュージシャンとダンサーは、1つのコードでスターティング・ポジションへの移動を行なったのである。

2 chords 主義者は、ずっとそれでやってきたことであっても混乱を起こすものであるなら、変更があつてしかるべき、と力説している。

本部の会員サービス委員会は現状を維持するという強い熱意に説得されたわけであるが、ことしの Book 43 にそれがあきらかに現れている。ジョン・ドルーリの “Fifty Years On” のように踊る前に位置交換が必要なダンスでは、引き続き second chord を用いる、ということである。 (“One Chord or Two?” by Alastair MacFadyen, from The RSCDS Bulletin No.81, Oct 2003) ■

つながっていますが、すべてではありません。とはいえ、すべてのグループが多かれ少なかれ、RSCDS から恩恵を受けているといっても間違いではないでしょう。

少人数のグループもあれば、たいへんな会員を擁しているグループもありますが、その発端はまったくと言っていいほど異なっています。国籍を問わないコミュニティでスコティッシュ・ダンシングが踊られたのが原点とか、スコットランドで仕事についていたとき、あるいは大学に留学中に SCD に出会った人が中心になって、というふうです。定例クラスからディスプレイ、公演出演まで、あるいは 1 回限りの行事から定期的な合宿やダンス会まで、というように SCD 活動もさまざまです。

年間行事、各種講習会も盛んで、そういった行事をめぐりながら休暇を過ごす人もたくさんいます。遠距離旅行が困難なダンサーであっても、自宅から比較的近いところで行なわれる各種行事のなかから、行きたいものを選ぶことができます。もしも時間に（お金にも）制約がなければ、そういう機会は無限ともいえます。

25年前に少数グループでしたが、年間ウィークエンド・カレンダーの元が出来あがりました。秋にレヒバルク、冬のギフホルン、フランクフルトのspring・ボール、夏至のデルフト、夏のセント・アンドルーズです。イースターは移動祝祭日で年によって日取りが変わるため、持ち回りのようになり、毎年国境を越える旅行となりました。

いまでは各地行事がありすぎ、どこに行くか選択困難なありさまです。スペインのウィークエンド、北イタリアの湖畔のボール、チェコや黒海のダンス・ツアーがあり、そのあいだにたくさんのダンシング・スポットがあります。参加者の多いイベントは敬遠されるようで（主催者にとっては悪夢ですが）、グループの多くはその地域のダンサーと少数のビジターを対象にした小規模の合宿を設けるようになりました。

どこへ行ってもフレンドリーな歓迎があり、そしてどこでも話されるのは、英国あるいはもっと遠くからの人の参加がますます増えていることです。

ここ数年のうれしい動きは、ソーシャル・イベントにおけるバンドやミュージシャンの登場です。ほとんどのクラスは録音音楽を使っており、合宿でミュージシャン、とくにピアニストを呼んでいましたが、イブニング・エンターテインメントにおけるバンドはわりあい新しい現象です。音楽上の才能は、ダンシング能力ほどはスコットランド、英国に限定されず、SCDを演奏するローカル・ミュージシャンの人数は着実に増えています。ダンシング、ティーチング、プレイングそれぞれの顔を分けるのが難しい人物も何人かいます。

異なる文化に触れたいというのが、欧州におけるSCDに対するひとつの目的でした。しかし、ローカル色、固有色を反映させた合宿、というのがいまの傾向です。フランス、イタリアでは食事（ワインも！）に趣向がこらされ、スイスやドイツではスムーズで効率的な運営、それよりも東の地域ではゆったりしたほこび、というわけです。

ダンシングとソーシャル性との割合は、ローカル色と同じように変わってきました。厳粛な合宿から、ともにソーシャルを楽しむようになり、クラス出席が必須ではなくなっています。

欧州のダンサーは多作のダンス作者でもあり、身体的・精神的な要請により多くの新ダンスがう

まれています。これはおそらく英国にくらべて年齢層が若いことにあると思います。また既知のフィギュアに巧妙なバリエーションを加えたり、あるいはまったく新しいフィギュアを作ることにも含まれます。ダンス会のプログラムに、新しい挑戦的なダンス、ソーシャルな行事には適当でないものが載るのはしょっちゅうです。

SCDへの熱意は明らかですが、本山であるRSCDSへの期待はそれほどでもない、といえます。RSCDSとは、いくらかうとうしく、ダンス会場における状況とは無関係、スコットランド以外の会員・グループとの関係に消極的な存在、というのがそのイメージです。SCDにおけるスコットランドのいわれや事物について質問する人は皆無です。しかし、英国の外でダンシングを楽しんでいる人たちがもうすこし関心をもてば、その出発点とSCDの世界とを固く結びつけることとなります。新鮮な外国の空気を吸うこと（たぶん論争になるでしょう）は、RSCDSのニーズの何かを知ることになると思います。

SCDの魅力は理詰めで説明するのが困難で、しかも国際的です。SCDで特筆すべきもののひとつは、スコットランドとのつながりのない、あるいは薄い人もその熱意を生み出せ、しかも持ち続けられることです。ドイツのユース・ホステルのSCDセッションで楽しみを知った学生グループから、あるいはブダペスト、プラハのケイリ・ダンシングの初参加者から生まれた、大勢の若いダンサーがいることにはおどろかされます。そのダンスと音楽に対する熱意がそこにあるのです。（“A European Patchwork” by Susi Mayr, from The RSCDS Bulletin No.81, Oct 2003）■

## トゥールネ(Tournée)について

(ケン春日)

プログレッションにはアルマン、プーセット、ロンデル、トゥールネ、トゥールビヨンなど、フランス語を語源とするものが多い。なかでもトゥールネはeの上にヒゲ（アクサンテギュウ）のある、れっきとしたフランス語で、発音は「トゥールネ」が正しい。ヨーロッパではトゥールネと発音しないと通じない。

日本でよく耳にするのは「ターニー」とか「トゥーニー」とかで、これが気になってしかたがない。これを正しい発音に統一されるよう、東京ブランチから指導してもらいたいとずっと思っている。英語国民もおかしな英語風の発音をするが、日本人は「トゥールネ」でやってもらいたい。

さて踊りのほうであるが、海外とくにヨーロッパでは男性の踊り手が多い。ダンス会などではど



んなに少なくとも3割はいる。片側が男性ばかりということは珍しいことではない。ピトロックリーのウィンタースクールのソーシャル・ダンシングでは男性が余るということもしばしばである。男同士ではさまにならないので、ほんとうに困る。あぶれたら壁の黒子になるしかない。これくらい男性がいるので、踊り方やくせがよく目に入る。

トゥールネはしょっちゅう出てくるプログレーションではない。だから余計気になるのだが、男性のダンサーの技量がわかってしまう。いったん女性を真ん中にいれ、アップ&ダウンの状態に

しておもむろに女性を正しい方向に向ける人もいれば、なりゆきのまま大きく円を描くようにして女性をぐるりと回す人など、いろいろである。

トゥールネをうまく踊るのは、ノットを華麗に踊るよりもずっと男性に責任がある。パーティーは試験やクラスではないので、個性を強く表現する男性が多い。女性にあっては、ふだん経験したことのないやり方でリードされることがあるかも知れない。いずれの場合でも女性は男性を信頼しているので、男性はパートナーを反対に回すことがないよう、トゥールネを十分に心得ていただきたい■

## 新 CD 紹介 (Tom Toriyama)

### (1) More Memories of Scottish Weekend (SW02) by Various Musicians directed by Liz Donaldson

Hornpipe Suitable for Catch the Wind (8x32H), The Jubilee Jig (8x32J), Asilomar Romantic (8x32S), Duke of Atholl's Reel (8x32J), Denise's Waltz (5x32W), The Royal Deeside Railway (8x32R), Set of Strathspeys (3x32), Waverley (8x48J), Round Reel of Eight (1x88R), Gypsy Weaver (8x32S), EH3 7AF (8x32J), Balquidder Strathspey (8x32S), The Mason's Apron (8x32R), Bonnie at Morn (4x32W)

### (2) Quick Here's Anither Yin (BRCD 034) by Kenny Thomson and Wardlaw Scottish Dance Band

Nice to See You (5x32R), The Chequered Court (8x32J), S-Lo-motion (4x32S), Beeswing (8x32R), Pelorus Jack (8x32J), Anna Holden's Strathspey (8x32S), Waltz Country Dance (4x40W), Ways in New Hall (8x32R), Summer School Peregrination (4x32J), Castle Douglas (8x32S), The Highland Rambler (8x40R), The Byron Strathspey (3x32S), Mrs Stewart's Jig (8x32J), Angus MacLeod (2x64R)

### (3) Music for Dances Book 12 (RSCDS CD043) by Bobby Brown and the Scottish Accent

Grant's Rant (8x48R), Green Grow the Rashes (8x32S) ほか。その他のダンス内容略。

(1) は、1998年のライブ録音につづく2枚目のCDで、2002年9月28日米国メリーランド州で行なわれたボールのライブである。前作が好評だったため、第2作が作られた。

## More Memories of Scottish Weekend



前作と同じく音楽ディレクターはリズ・ドナルドソンがつとめ、バンドメンバーもほとんど変わりが無い。ただし前作を東京支部に紹介したフィドルのカラム・マッキノンは今回メンバーに入っていない。演奏は前作以上の出来栄であり、リズム楽器はピアノだけであるが、リズムとデイブ・ワイスラーが安定したパルスを送っている。会場の雰囲気も演奏を損なわない程度に入っており、Round Reel of Eightであちらのダンサーはどこで掛け声をいれるかもわかる。楽

器編成からストラスペイはすべてエアになっている(Balquidder Strathspey さえも)。ライナーノーツにあるように、リスニングにも適している。テープにダビングしてちゃちなプレーヤで使うよりも、ちゃんとした装置でそのまま聞きたいCDである。

〔注文略号:モア・メモリーズCD〕

(2) は、RSCDSでBook 5を録音しているケニー・トムソン・クインテットの演奏。録音年月日は2003年6月15日とある。Summer School Peregrination以外のダンスは、すべて他バンドによるCDあるいはカセットによる録音がある。演奏はたいへんに軽快、ケニーのアコーディオンも快調である。ストラスペイのテンポは速く、上記(1)にくらべると8x32で30秒短くなっている。ダンス曲演奏にしてはエコーのかかった録音であるが、きついエコーではない。クラスで時間が余ったときなど、これ1枚を持っていれば急場をしのげるという使い道もある。

〔注文略号:ケニー・トムソンCD〕

(3) は旧録音の焼き直しでなく、ボビー・ブラウン楽団による新録音で、その分値段もお高くなっている。ボビー・ブラウンといえばカナダのバンド。そう、これはRSCDS最初の海外バンドによる録音である。演奏内容は標準の出来栄。旧録音では4回でチョン切られたストラスペイもすべて8回の収録となっているので、Green Grow the

Rashes もみなさんのクラスでもっと踊られるようになるだろう。〔注文略号:Book 12 CD〕

モア・メモリーズCD	¥2,500
ケニー・トムソンCD	¥2,600
Book 12 CD	¥2,600

(いずれも送料込み)

### ＜ランチショップ＞

ことしも RSCDS グッズがご購入いただけるランチショップを開店いたします。RSCDS Bulletin 折込みの RSCDS プライス・リスト(クリーム色の紙)から商品をお選びになり、「ランチショップ注文書」にご記入のうえ、お送りください。小品目なら、郵便振替用紙への記入で結構です。Book 12 CDは¥2,600です(多量注文による割引)。

今回これがよいと思われる商品は、Pocket Editions-Book 10-12・・・2002 年版。旧版から大幅な改定がなされており、各ダンスの動きはよりくわしく述べられている。興味深いのは The Earl of Home の Bars 1-8 である。

1980 年版では: All dancers set and cross over, **passing by right shoulders**, to change places. All set again and cross back to places.

1987 年版: 1st, 2nd, 3rd and 4th couples set and cross over **giving right hands**, then set and cross back, again giving right hands.

2002 年版: All four couples set and cross over, **passing right shoulders** to change places. All set again and cross back to places.

同じく Pocket Editions で 2002 年版が発行されているものに、

Book 30, 5/1982 & 31

Book 32 & Leaflets があり、リーダーは最新版をそろえるべきであろう。

Index of Dances - A5 Edition・・・昨年ご紹介したポケット版に加え、3倍の大きさの A5 版が出た。値段はポケット版と同じである。細かい字が苦手な人はどうぞ。

その他の注意事項としては、

\*SCD in Diagrams、Manual of SCD は 2004 年に改訂版が発行される見込みなので、待つこと可能ならば今回見送ったほうがよい。

\*ビデオは NTSC 価格を記入する。

\*CD の Vol I- IV Dancing Fingers は 3 枚組 CD で、1 枚が単価 12 ポンド、計 3 枚なら 36 ポンド。  
(Tom Toriyama)

以上の商品のご注文は

郵便振替 00240-00-63517 東京ランチ  
締切り 2月27日(金)

お渡し予定 3月下旬 担当 藤田淑子■

## マルカム、ピーター、パットと ソーシャル・ダンシング ＜RSCDS 埼玉ランチ＞

2004年2月23日(月) 1.30-4.30  
上福岡市総合センター(フクトピア)  
(東上線 上福岡駅 10分)

¥1,000

東京・埼玉両ランチで指導を終えたのち、マルカム・ブラウン夫妻、ピーター・クラーク夫妻は2月24日に帰国します。帰国に先立ち、埼玉ランチ主催でお別れの気持ちを込めてソーシャル・ダンシングがひらかれます。東京ランチ会員もぜひご参加ください。

Happy Meeting, Glenalmond Gamekeeper, Sugar Candie, Mrs Stewart's Jig, Deil Amang the Tailors, Silver Tassie, Waverley, None So Pretty, Eightsome Reel, Anna Holden's Strathspey, Fifty Years On, Dancing in the Streets, Glasgow Highlanders, Pelorus Jack, Miss Milligan's Strathspey, Duke of Perth, New Gay Grdons



### グループ行事案内

#### 新宿カントリーダンスクラブ 19周年パーティ

2月29日(日) 6-9

グランドヒル市谷 (JR市ヶ谷駅 3分)

¥6,500

連絡先 増本サチ子 03-3357-4776

#### 葛飾スコティッシュカントリーダンスクラブ 創立18周年パーティ

3月28日(日) 12-4.00

葛飾区総合スポーツセンター「エイトホール」

(京成線青砥駅 15分) ¥1,000

連絡先 尾身信晴 03-3697-5838

次号は4月発行予定。5月-7月のお知らせを

## RSCDS Bulletin No.80

1月末に会員配布分が到着しましたので、本ランチレターに同封してお送りします。表紙はサマースクール2003のDancing in the Streetsの情景。日本人ダンサーも写っています。Bulletin本文の概略は、ランチレター本号と次号に分けて掲載いたします■